



Powerd by ・ akagikanko

電子書籍

「電子化書籍をどう思うか？」

という質問が今年はずっごく多いんですが、この100年のあいだに人類は写真を作り、ラジオを作り、映画を作り、テレビを作ってきたわけですよ。

ある意味絵本だってこの100年以内の発明品じゃないですか。

それまでは挿し絵にすぎなかったものを別のジャンル（つまり絵本でしか表現できないことがある）を創造しえたんですから。

絵本を作り、マンガを作り、アニメーションを作り、そうして今度は3Dと電子書籍を作ったわけですが、結局いままでのものは、み～んな棲み分けしてま

す。料理のつくりかたは、本で読むよりテレビの動画のほうが（今日の料理、ですよ）はるかにわかりやすいでしょ。

でも料理の本は、なくならなかった。

料理エッセーも、なくならなかった。

なぜかっていうと、どっちも固定化されてないと、頭に入らないものだから。アンド、ビジュアルの最大の欠点は、その検索のしにくさです（ネットは便利じゃん！と思うかもしれないが、ネットは全体を把握できないので、何が入っているのかわからないという欠点がある）。

かくして料理番組と料理本は共存共栄したわけですね。

活字の本だけで勉強できる人は日本全部でも一万人くらいだろうと思います。

南方熊楠ならできたろーね。

レオナルド・ダ・ヴィンチ、とかもさ。

でも普通の人にはできないよ。

でも、目の前で、生身の人にはなしてもらえば七割くらいはオーケーになるでしょ？

電子書籍も電子教科書も、 それは教材、材料……にすぎない。 料理するシェフがいなきゃ料理にはなんないさ。

でもアニメーションやCGや実写、を使えば、特に自然科学などの(ちなみに、算数は自然科学だ)解説は、ビジュアルのほうが優れているに決まっています。それにNHKやBBC(イギリス国営放送ね)は一教師(つまり民間人)が普通入れない古代遺跡や博物館の地下収納庫のようなところにも、楽々入っていくことができる。カニやクラゲの魅力的な生態なんてのも、生徒に生で見せるのは無理でしょう。

ただしそういうものも教材にすぎません。活かそうと思えば、やっぱり生身の人間の力が必要です。

いくら読み方を解説するDVDを作ったって、実際の子どもたちが生身の肉体を使って読めるようになったかチェックし、もし、できていないのならどこで引っかかったのか、を考えて、できるようになるまで一緒に練習する、なーんてことは、ビジュアルにはできないのですから。

電子書籍・得意なことと、不得意なこと

電子書籍は新しい媒体です。

そのジャンルが得意なことと不得意なことが必ずあるでしょう。

電子のほうが得意なことは、電子に遠慮なくやってもらえばいい。

たとえば、うまく見えにくい人たちにとっては、電子書籍は福音です。書体もサイズも自分用に調節できる……エレクトリックボイスだけど、手軽に読んでもらえる。何度でも聞ける。

物理や化学や生物の教科書は、電子教科書が向いているでしょう。

でも書道はどうか？

半分はカバーしてくれるけど（知識のパーツは）実技はカバーしてくれない。

計算や読み方もカバーできない……。

というわけで心配しなくてもやがて棲み分けするだろうと思います。

それよりむしろ心配なのは、その電子教科書の出来映えさっ！

どうか、いいのができますよーに！

というか、頼む相手を間違えなきゃちゃんとできるんだが……。

へたくそなものを作られたときには、それこそみんなでブーイングしようねっ！

		予定 <small>(正確な情報は http://www.akagikanko.jp/ サイトで)</small>
2010/12/1	水	
2010/12/2	木	
2010/12/3	金	
2010/12/4	土	14時～16時「機関車トーマスと英国鉄道遺産」江戸川中央図書館
2010/12/5	日	東武動物公園・杉戸町
2010/12/6	月	宮崎県新富町 1900 から「賢い子どもは雑学本が作る！」
2010/12/7	火	
2010/12/8	水	
2010/12/9	木	
2010/12/10	金	
2010/12/11	土	南山(愛知県名古屋)
2010/12/12	日	読み聞かせ講座 京田辺市
2010/12/13	月	堺市でブックトーク
2010/12/14	火	吉良町津平小学校
2010/12/15	水	
2010/12/16	木	
2010/12/17	金	
2010/12/18	土	花巻
2010/12/19	日	盛岡
2010/12/20	月	

2010/12/21	火	
2010/12/22	水	
2010/12/23	木	
2010/12/24	金	
2010/12/25	土	
2010/12/26	日	
2010/12/27	月	
2010/12/28	火	
2010/12/29	水	
2010/12/30	木	
2010/12/31	金	

-----かんこしんぶん 117号ここまで-----

◎かんこ新聞の購読（閲覧・印刷）には、会員登録が必要です。（簡単な操作です）設定完了後から12号分（1年分）購読ができます◎（登録作業はネットだけで完結します。）

◎ユーザー名とパスワードを設定していただきますと、新聞購読会員用ログイン画面にお入りいただきます。ご希望の新聞アイコンをクリックしていただきます。

<http://www.akagikanko.jp/modules/tinyd4/index.php?id=45> に詳細説明がございます。

●設定がご面倒な方は、メールに「新聞購読希望」と一行お書きになって送信ください。新聞係がユーザー名とパスワードを設定後、メールで返送します。下記もご参照ください。

かん子新聞 年間購読料 1000円

必ず 住所・氏名・メールアドレスをご記入下さい。

● **振込先** ゆうちょ銀行 振込口座 記号 番号（右詰）

00160-3- 24404

加入者名 社会福祉法人 埼玉福祉会

★購読料金の請求および支払期限はとくにございません。おついでのと看、気がむいたときにお振込ください。

かんこ新聞 2月号 2011年1月25日発行 著者 赤木かん子 通巻 117号

新聞サイト <http://www.akagikanko.jp/> 電話 048-481-2188

お問合せ kankosinbun@akagikanko.jp 年間12回発行 年間購読料 1000円

発行所 352-0023 埼玉県新座市堀ノ内 3-7-31 社会福祉法人 埼玉福祉会

新聞の購読ありがとうございます。表示の不具合、文字列のズレ、などがございましたら、下記アドレス宛にご連絡くださいますようお願い致します。早急に対処いたします。

新聞に関するお問合せ kankosinbun@akagikanko.jp